

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>再編協議の期間が1年半と短い、開校までに間に合うのか？</p> <p>学校が統合される時期がはっきりしないと、子どもへの説明が難しい。いつ頃になれば、実際のスケジュール等の目処が立つのか？</p>	<p>再編協議が1年半というのは非常に短いと私共も感じているところである。(仮称)大和小は、旧大和町地区の統合ということで、ある程度スムーズに協議が進むのではないかと期待もあって計画している。しかし、再編協議会(仮称)で意見統一がなかなか進まない場合は、期限がきたからと途中で協議を打ち切るのではなく、計画を後ろ倒しにすることも止むを得ないと考えている。</p> <p>今後のスケジュールとしては、説明会終了後、パブリックコメントを経て、計画案を正式な計画として策定し、保護者や子どもたちにお示した後に再編協議に入る。先ほど言ったとおり、そこで意見統一がなかなか進まない場合は、後ろ倒しにすることも止むを得ないが、目標としては計画期間内でやっていきたい。</p>
2	<p>中島小に仮移転した際、教室数が足りるのか？</p>	<p>なぜ、仮移転先が現中島小なのかというご質問だと思う。理由としては、現中島小が一番広いからで、部屋数としては足りる。再編決定後、多目的室等を教室に改修し、エアコンを入れるなどの手直しして使用することになる。</p> <p>また、他の校区では学童保育に関する質問もあったため、合わせて説明する。学童保育は子育て支援課の管轄だが、学校教育課としては、同じ学校内に用意したいと考えている。ただ、統合することで学童保育のニーズも変わる可能性があり、現時点では規模の予測が難しい。現中島小の校内で対応できない場合は、跡地となった他の校舎を学童保育所として運用し、スクールバス等で移動する等ほかの案も検討する必要がある。</p>
3	<p>再編には賛成である。貴重な場なので、学校への要望を言わせて頂きたい。現在、新型コロナの影響で2年間授業参観等が中止になっている。例えばZoomを使っている授業参観等はできないか。学校でどのような授業が行われているか、子どもがどのように授業を受けているかを見る場が欲しい。</p>	<p>(豊原小校長)現在、質問の中にあつたようにZoom等で学習の様子を配信することを学校で計画・準備している。ただ、新型コロナの陽性者が出ている学級もあることから、現在遅れている状況。今しばらくお待ち頂きたい。</p> <p>(首席指導官)コロナに関する知見が徐々に深まり、先行事例等をもとに、少しずつ行事を行っていくと教育委員会でも準備しているところ。各種規制についても、今後緩められないか検討している。</p> <p>(教育長)マスクをはずして、子どもたちが明るく元気に生活できる状況になればと願っている。今年に入り、運動会も開催できるかと思っていたが、市内の感染状況及び小中学校でも継続的に一定数の感染者が出ている状況で、いまだ楽観視できないことから延期を決定した。また、校長がご説明されたICTを活用した行事に関しては、タブレットの動作確認等の事前テストが低学年で完了していないため、完了次第、各学校でICTを活用しての授業参観等に取り組んでいきたい。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
4	新設校の細かい部分は、おそらくこれから再編協議会等で検討されると思うが、組織の構成はどうか。	新設校ごとに再編協議会(仮称)を組織することになり、構成は学校ごとに若干変わるかと思うが、基本的には保護者、教職員、地域住民を代表する方によるものと考えている。参考までに、みやま市の桜舞館小学校の場合は、1校あたり保護者から3名、教職員から3名、地域住民から3名、4校統合なので9人×4校で36名での組織だった。また、再編協議会(仮称)では、それぞれ意見を持ち寄って、校名を検討する部会、制服の部会、通学方法の部会等に分けて協議を行うことになると考えている。例えば制服については、制服の廃止、学年によっては前の学校の制服を継続して着て良いかなどを話し合う。中学校についても同様である。なお、中学の制服については、学校再編とは別に、ジェンダーに配慮した標準服の導入を検討しているところ。保護者の負担を可能な限り減らしたいと考えている。
5	大和中と三橋中の統合中学校について、統合後の校区の端から通学するとかかなり遠く、通学時間もかかる。校区が広い大和中と三橋中を統合するより、旧大和町地区の小・中学校を義務教育学校にするという形はとれないのか？ 計画上、現在の小学3・4年生は、小学校と中学校の2回再編を経験することになり負担が大きい。これについてはどのようなフォローを考えているか？ いろいろな子どもたちがいる中で、勉強などいろんな面でかかわりを持ってもらいたい。	旧大和町地区内の小中学校の規模から考えると、義務教育学校も検討に値する。しかし、現在、義務教育学校への再編を計画している蒲池校区、昭代校区の場合は、小学校と中学校が隣接しており、再編後は施設の改修で対応が可能である。対して、現大和中を義務教育学校として整備する場合は、小学校部分の用地確保等が問題となるため、現三橋中との統合により学校規模を適正化する案を策定している。 (学校教育課長)2回の再編を経験する子どもたちに対するフォローは、もちろん検討すべき課題であると考えている。再編の意義を子どもたちに理解してもらえるような資料作成などについて、学校と協議しながら検討する。 (首席指導官)なかなかない経験であることから、学校再編や閉校に向けて、子どもたちの学びを深め、不安解消に努めていきたい。また、再編により学校は閉校していくが、地域コミュニティは残る。引き続き、地域への愛着を育てることも重要であると考えている。その他、発達段階の違いによって、教職員の配置を厚くするなどの対応をとっていきたい。
6	柳川市の学校再編について、複式学級や単学級が発生しないための再編だろうと思うが、蒲池校区と昭代校区の義務教育学校においては、10年後までは単学級は免れても、その先も維持できる見通しがあるのか？	現在の1歳児が中学生になる頃までは、1学年2クラスを維持できる推計。しかし、これは他の学校の場合も同様だが、その先の人口の予測は大変難しく、将来的には単学級が発生する可能性も否定は出来ない。校区の広さと子どもの数のバランスを考えて、現在の計画案を作成している。なお、蒲池校区や昭代校区に関しては、各学年2クラスでは少ないと思われるかもしれないが、義務教育学校として9学年制にすることにより、縦の学級数や係わる教職員数を確保し、教育効果を上げる狙いである。それならどの学校も義務教育学校にという考えもあると思うが、用地確保等の問題から今回の計画案を策定している。
7	最短で令和6年度開校となっているが、それまでの間に6校の子どもたちの交流の場を設ける考えはあるか？コロナで難しい面もあると思うが、突然知らない子が増えるよりは徐々に交流しながら、子どもたちが前向きな気持ちで再編に望めたらと思う。	新設校の開校前に各学校の児童生徒の交流の場を設けることは、今後非常に重要だと考えている。4、5年前にテレビ会議システムを使った交流(学校紹介や交流授業)を実施したことがあったが、当時の通信環境の問題から続かなかった経緯がある。しかし、先程からも話題になっているように、現在では子どもたちにもZoom等の利用が浸透してきている。今後は感染状況を見ながら、ICTを活用した交流、直接の交流等、様々な交流ができる仕組みづくりに教育委員会と学校で取り組んでいきたい。